

別紙 1. データセンター要件

大項目	中項目	小項目	要求事項	観点	備考		
データセンター要件	施設要件	基本事項	情報セキュリティ・マネジメントシステム：ISMS（ISO/IEC 27001（JIS Q 27001））適合性能評価制度の認定を受けている事業者が運営するデータセンターであること。	組織の情報セキュリティ管理体制の確認のため。			
			品質マネジメントシステム（ISO 9001）、プライバシーマークを認証取得済みであること。	サービス品質管理及び個人情報の適切な取り扱いの確認のため。			
			このデータセンター要件定義に記載のないファシリティ基準については、日本データセンター協会（JDCC）が定める基準項目及び推奨項目がティア3相当以上であること。ただし、基準項目の評価項目である建物用途については除くものとする。	但書は基準項目の評価項目の一つである建物用途について複数テナント可とするため。			
		立地条件	サービス提供に用いるアプリケーション、プラットフォーム、サーバ、ストレージ等は国内法の適用がおよぶ場所に設置されていること。	事故により計画的避難区域又は警戒区域に指定され立入制限となる可能性があるため。			
			原子力発電所から30km圏内に立地していないこと。				
		建物構造	建物構造が震度 6 強に耐えうる耐震、あるいは免振等の構造を備えており、日本国内の住所を有すること。				
	サービス要件	基本事項	平常時及び障害発生時等の緊急時にも問い合わせ可能な窓口を設けること。	対象とするシステムにより目標値は異なる。			
			ネットワーク通信疎通状況を常時監視し、障害の予防、検知を行うこと。				
		疎通監視通信状態確認 障害対応	回線提供区間の疎通監視を 2 4 時間 3 6 5 日行い、障害が発生した場合は速やかに保守を行うこと。				
			保守等の対応を行った場合は、障害の内容、サービス停止期間、障害要因、対応内容等を報告すること。				
			1 日 1 回以上の設置機器のランプ等目視確認を行い、障害が発生した場合は原則 1 時間以内に連絡すること。				
		定例報告	設置機器のランプ等目視確認、障害発生後の保守作業ごとの実施状況について月次の状況報告を行うこと。				
			計画的なサービス停止又は変更について、十分な期間をもって事前に通知すること。				
		SLA	ネットワーク等の疎通にかかるサービス提供稼働率の目標を 9 9 . 9 9 % とすること。				
		セキュリティ対策要件	入退館・入退室管理			データセンターは 2 4 時間 3 6 5 日の入退館者の管理が行われ、入退館記録は 5 年分保管されていること。	入退館に関する情報を確認するため。
						サーバ室等のセキュリティ区画の入退室管理設備及び各扉は、I C カード、生体認証、共連れ防止措置等を用いた認証により入退室管理が実施され不正な者の侵入を防止でき、その入退室記録は 5 年分保管されていること。	入退室に関する情報を確認するため。
	入退管理システムに記録されたデータは、入退するものの情報について情報開示を求められた場合、開示が行えること。						
	ラックへは、鍵又は I C カード、生体認証によるアクセス管理、カメラによる架列単位の監視が行われていること。						
	警備		建物警備を 2 4 時間 3 6 5 日体制で行うこと。				
			建物の出入口及び搬出入口に監視カメラを設置し、常時監視を行うこと。				
			サーバ室等のセキュリティ区画は、死角がないように監視カメラを設置し、常時、入退室の状況や室内での作業状況を監視すること。				
			監視カメラで撮影された映像は、入退するものの情報について、情報開示を求められた場合、開示が行えること。				
			監視カメラで撮影された映像は、1 年以上保管すること。				
	運用要件		点検	設備の定期点検を実施していること。		第三者による客観的な視点で審査を受けているか確認するため。	
			監査	外部機関によるセキュリティ等の監査を定期的に受けていること。			
		バックアップ	6 0 k m 以上離れた他のデータセンター等にネットワークを介して定期的にバックアップを行うこと。	同時被災を想定したデータ保護の目的のため。			
	実績要件	運用実績	データセンター事業者として5年以上のサービス提供実績を有すること。	機器更新の実績を確認するため。			
データセンター事業者として2年以上継続した地方公共団体関連のサービス提供実績を有すること。							